

津波ハザードマップ

山口県光市

津波ハザードマップに関するお問い合わせ
光市総務部 防災危機管理課
住所：光市中央六丁目1番1号 / 電話：0833-72-1400

津波ハザードマップとは？

この津波ハザードマップは、地震による津波、土砂災害、高潮などの災害によって被害が想定される区域や緊急避難場所の位置などを地図に示したものです。いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃からこのマップを使って家庭や地域で話し合ってみてください。

また、お住まいの地域によっては、高潮ハザードマップや土砂災害ハザードマップ等がありますので、それらと一緒に活用・保管してください。



わが家の防災メモ

地図面で緊急避難場所や避難方向などを確認し、大切なことを書き込んでおきましょう！

知っておきたい連絡先

● 光市の主な機関

機関名	電話番号
光市役所	0833-72-1400 (代表)

そのほかにも重要な電話番号があれば書き込んでおきましょう！

● 緊急時の連絡先

119：消防
火事、救助、救急の通報

118：海上保安庁
海上、海難事故の通報

110：警察
交通事故、事件の通報

家族で決めておくこと

● 最寄りの緊急避難場所はどこですか？

緊急避難場所 集合場所

● 家族の連絡先などを書き込んでおきましょう！

氏名	性別	血液型	生年月日	持病・アレルギー	緊急時の連絡先 (携帯番号・学校・勤め先など)

災害用伝言ダイヤル「171」 ※一般加入電話・公衆電話・携帯電話・PHSでご利用できます。

忘れて「イナイ(171)?」

伝言を録音する → 171 → 「1」を選択 → 市外局番 → 録音 30秒

伝言を再生する → 171 → 「2」を選択 → 再生 30秒

地震・津波について知ろう！

■地震の種類と起こり方

地震とは、地下の岩盤が固く押されることによる面を境としてずれる現象のことをいいます。この岩盤のずれが起きると地震波が周囲に伝わり、やがて地表に達すると地表が「ゆれます」。私たちはこの「ゆれ」で、地震が地下で発生したことを知ります。

プレート境界の地震

発生例：2011年 東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災の地震)

沈み込むプレート内の地震

発生例：2001年 吾吾地震

陸域の浅い地震

発生例：1995年 兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災の地震)

海のプレートが沈み込むときに陸のプレートを地下へ押し込んでいきます。陸のプレートが引くにつれて発生する地震です。

陸のプレート内部に力がたまって、プレートの境いところで発生する地震です。

■震度とゆれの状況

震度	状況
震度4	●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物が大まかに揺れる。 ●座りかたの悪い人が、倒れることがある。
震度5弱	●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまらなくなると感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。
震度5強	●物につかまらなくなると歩くことが難しくなる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●固定していないブロック塀が倒れることがある。
震度6弱	●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●窓のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造家は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度6強	●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。 ●耐震性の低い木造建物は、壊れるものが多い。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度7	●耐震性の低い木造建物は、壊れるものが多い。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに壊れることがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが多い。

■震度とマグニチュードの違いとは？

マグニチュードは「地震の大きさ(規模)」を示し、震度は「地震によるゆれの大きさ」を示すものです。

電球に例えると…
光 → 震度
ワット数 → マグニチュード
明るい(震度強) 暗い(震度弱)

■津波の起こり方

海底で大きな地震が発生すると、断層運動により海面が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です。

津波と高潮の違いとは？

高潮は気圧や風の影響により海面の高さが高くなり、短い周期で押し寄せますが、津波は海底から海面までの海水全体が動き、水の壁となって長い周期で押し寄せます。

■津波の速さ

津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくとつねに遅くなる波が前の津波に追いつき、波高が高くなります。

■津波の伝わり方

山口県の津波浸水(しんすい)想定によると、南海トラフ巨大地震が発生した場合、12時間以上は津波が繰り返し押し寄せてくるのが予測されています。津波注意報・警報が解除されるまで、高台等の安全な場所に留まっておくなど、海に近づかないようにしましょう。

南海トラフ巨大地震による津波の水位時系列変化

光漁港で発生する津波

■光市で予測される「津波を引き起こす地震」

地震の種類	マグニチュード	①最高津波水位 (T.P.+m)	②津波波高 (m)	③最高津波水位到達時間 (分)
南海トラフ巨大地震	9.1	3.6	2.0	116
防府瀬所断層部主部の地震	7.2	2.5	0.9	65

津波の浸水域と浸水深の模式図

津波が発生した場合、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域は、津波災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域とします。

●津波災害警戒区域は、津波浸水想定区域を基に県知事が指定します。

●津波災害警戒区域内の土地利用や開発行為等に規制はかかりません。

●光市における津波災害警戒区域は、山口県が平成25年に公表した「津波浸水想定」の浸水域を基本としています(無人島を除く)。

津波災害警戒区域や基準水位は山口県のホームページで確認することができます。

■津波災害警戒区域(イエローゾーン)

基準水位の公表

津波災害警戒区域指定と併せて基準水位が公表されています。

基準水位により、津波浸水想定の高さ(水深)に達する際に必要な高さを知ることができます。

津波災害警戒区域や基準水位は山口県のホームページで確認することができます。

詳しくは http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/tsunami_yellow.html

山口県津波災害警戒区域 検索

事前に準備しよう！

■日頃から携帯しておく便利なもの

- 懐中電灯
- 携帯電話 スマートフォン
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 身分証

突然の停電時に便利です。様々な大きさ、形態があります。

緊急連絡時に最も有効なツールです。また情報収集にも便利です。

停電時の情報収集に便利です。スマートフォンでも利用できます。

携帯電話や携帯ラジオを長時間使うために必要です。

治療や避難支援を受けます。

■非常時持ち出し品を準備しよう！

●非常時持ち出し品は、家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。

●持ち出し品を入れる袋は体に合った大きさを留意し、自分で背負うことのできる重さとしましょう。

●離れはなれなくなったときに、荷物は各自のリュックに分割せきおきましょう。

分類	項目
食料品	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 <input type="checkbox"/> アメ・チョコレート <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
生活用品	<input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく・ライター <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> 筆記用具・メモ帳 <input type="checkbox"/> 缶きり <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> 高齢者用品(入れ歯など) <input type="checkbox"/> メガネ・老眼鏡 <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> トイレ用ペーパー <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
医薬用品	<input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 処方箋(名称:) <input type="checkbox"/> ()
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も忘れず!) <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 身分証 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
衣料品	<input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> 靴下 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 長袖上着 <input type="checkbox"/> 長ズボン <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> 雨カッパ・雨具 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
避難・救助用具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 防災頭巾 <input type="checkbox"/> オープ <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()

※()内には各家庭で必要なものを記入してください。

情報を収集しよう！

■気象情報・避難情報の種類

注意報：災害が起こるおそれのあるときに発表し、注意を呼びかけます。

警報：重大な災害が起こるおそれのあるときに発表し、警戒を呼びかけます。

特別警報：警報の発表基準をはるかに超える重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に発表し、最大限の警戒を呼びかけます。

特別警報発表基準

大雨：台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合

津波：高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づけ)

気象庁の発表を受けて、光市が「避難が必要である」と判断すると「避難に関する情報」が発令されます。

避難準備・自主避難の目安！

これが出たら避難を開始！

危険です！今すぐ避難を！！

避難準備情報：事態の推移によっては避難勧告や避難指示を行うことが予想される場合に発表されます。避難に備えて準備を行ってください。また、避難行動要支援者の方は避難を開始しましょう。

避難勧告：安全のため居住者に避難を勧め、促すものです。「(避難したほうがいいですよ)」と呼びかけ

避難指示：被害の危険が切迫したときに発せられるもので、勧告より拘束力が強く、住民を避難のために立ち退かせるためのものです。「(直ちに避難しなさい)」との緊急性の高い呼びかけ

■防災情報を取得するには・・・

テレビ・ラジオから積極的に情報収集！

緊急地震速報、津波警報・注意報など、災害情報はテレビやラジオを通して入手することが可能です。

緊急時や災害発生には、テレビ画面上に「気象・防災情報」のテロップが流れます。

また、デジタル放送対応テレビの「dボタン」からも気象・防災情報を入手することができます。

放送される情報に注意し、早めの備えを心がけましょう！

停電時の防災情報取得方法を考えてみましょう！

■停電時に有効な防災情報取得方法

携帯ラジオ、携帯電話、カーナビ、ポータブルテレビ、タブレット型端末、ノートパソコン…など

光市が発信する防災情報

光市では様々な方法で防災情報を発信しています。

放送で発信！**防災行政無線**

電話で発信！**防災広報ダイヤル 0833-72-1410**

メールで発信！**光市メール配信サービス**

市民の皆様が安全で安心して暮らせるよう、防災・防犯等に関する情報を携帯電話等に提供しています。

光市メール配信サービス

このメール配信サービスは登録申し込みをされた方に情報を発信するもので、携帯電話やパソコンなど、メールアドレスがあれば誰でも登録できます。

■配信される防災情報

災害対策本部からのお知らせ、防災行政無線の緊急通報内容、災害時の避難所の開設や道路の通行止めなど

※防災情報のほかに、気象情報(気象庁の発表を自動配信)、交通防犯情報、市政情報、観光情報などが配信されます。

登録方法

- 登録用アドレスに、件名・本文を入力せずにメールを送信します。
- 登録用メールが返信されます。返信メールに記載されたアドレス(URL)へ、インターネット接続してください。
- 登録画面が表示されたら、配信を希望する情報にチェックを入れ、お住いの地域を選択して「次へ」を押してください。
- 確認画面が表示されますので、内容を確認し、「登録」を押してください。

登録完了！

詳しくは http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/tsunami_yellow.html

光市メール配信サービス 検索

避難時に注意すること！

■地震から身を守る

屋内にいるとき

●ゆれがおさまるまで身の安全を確保！
窓やドアを開け、出口を確認しましょう。丈夫なテーブルや机の下に避難し身の安全を確保しましょう。

●火元、電源をオフ！
ゆれがおさまらず安全を確認してから、ガスの元栓を閉め、ブレーカーの電源をオフにするなど、火災の発生を防ぎましょう。

●移動時は必ず靴をはく！
ガラスや木片が飛び散ることが予想されます。室内の移動でも靴をはきましょう。

屋外にいるとき

●せまい道や塀に近づかない！
住宅地ではブロック塀、電柱、自動販売機などが倒れてくる可能性があります。そばからはなれるようにしましょう。電線にも注意しましょう。

●頭上にも注意！
街中でビルガラスが飛び散ったり、看板などが落ちてくる可能性があります。建物からはなれましょう。

●運転中もあわてない！
ゆっくりスピードを落とし、道路の左側に停止させてエンジンを切りましょう。ゆれがおさまるまでは車内で待機しましょう。車から離れる時は車のキーはつきたま。ドアのロックをせずに、車検証などの貴重品を持っていきましょう。

■津波から身を守る

●ゆれがおさまったら高いところへ避難！
ゆれがおさまったら、高いところなど安全な場所へすぐに避難しましょう。

●第2波、第3波に注意！
津波はくり返し押し寄せ、第1波よりも第2波、第3波の方が高くなることもあります。津波警報や注意報が解除されるまでは警戒してください。

●小さなゆれでも注意！
ゆれが小さくても津波が来ないとは限りません。震源の位置や津波注意報など、正確な情報を収集しましょう。

ハザードマップを参考に、津波浸水想定区域、緊急避難場所、避難所、避難方向を確認しておきましょう。

■避難に関する注意

歩いて避難

車での避難は渋滞に巻き込まれて逃げ遅れたり、徒歩で避難する人の妨げになる場合があります。原則として「徒歩」で避難しましょう。

隣・近所で協力避難

お年寄りや子供、身体に障害を持つなど、手助けを必要とする人がいます。隣・近所で協力で避難をしましょう。また、できるだけ集団で避難するように心がけましょう。

日頃からのポイント

●いざと言う時に協力しあえるよう、隣・近所で声かけあいましょう。

●地域に住んでいる人の名簿があると、避難者の確認に便利です。

●協力避難を行うためにも、日頃からのコミュニケーションが大切です。